

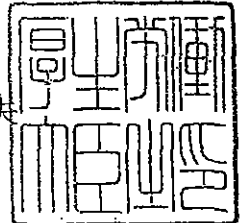


資料 1 - 4

厚生労働省発食安第0411007号
平成 1 9 年 4 月 1 1 日

薬事・食品衛生審議会
会長 望月 正隆 殿

厚生労働大臣 柳澤 伯夫



諮 問 書

食品衛生法（昭和22年法律第233号）第11条第1項の規定に基づき、下記の事項について、貴会の意見を求めます。

記

次に掲げる農薬の食品中の残留基準設定について

フルフェノクスロン

平成19年5月25日

薬事・食品衛生審議会

食品衛生分科会長 吉倉 廣 殿

薬事・食品衛生審議会食品衛生分科会

農薬・動物用医薬品部会長 大野 泰雄

薬事・食品衛生審議会食品衛生分科会

農薬・動物用医薬品部会報告について

平成19年4月11日厚生労働省発食安第0411007号をもって諮問された、食品衛生法（昭和22年法律第233号）第11条第1項の規定に基づくフルフェノクスロンに係る食品規格（食品中の農薬の残留基準）の設定について、当部会で審議を行った結果を別添のとおり取りまとめたので、これを報告する。

(別添)

フルフェノクスロン

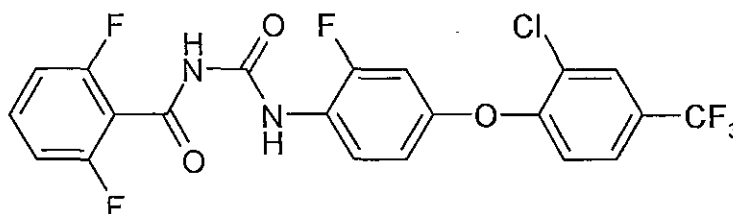
1. 品目名：フルフェノクスロン (Flufenoxuron)

2. 用途：殺虫剤

ベンゾフェニル尿素系殺虫剤である。昆虫の体内に取り込まれることにより、キチン質の合成が阻害されることで、幼虫の脱皮時に不完全な脱皮を促すことにより作用すると考えられている。

3. 化学名：1- [4- (2-クロロ- α , α , α -トリフルオロ-*p*-トリルオキシ) -2-フルオロフェニル] -3- (2, 6-ジフルオロベンゾイル) 尿素

4. 構造式及び物性



分子式 $C_{21}H_{11}ClF_6N_2O_3$
分子量 488.5
水溶解度 0.0043 mg/L (25°C)
分配係数 $\log P_{ow}=4.01$ (25°C)

(メーカー提出資料より)

5. 適用病害虫の範囲及び使用方法

本薬の適用病害虫の範囲及び使用方法は以下のとおり。

作物名となっているものについては、今回、農薬取締法（昭和 23 年法律第 82 号）に基づく適用拡大申請がなされたものを示している。

10. 0%フルフェノクスロン乳剤

作物名	適用 病害虫名	希釈 倍数	散布液量	使用時期	本剤の 使用回数	使用 方法	フルフェノ クスロンを 含む農薬の 総使用回数
りんご	ナミハダニ リンゴハダニ	2000 倍	200~700 L/10a	収穫 14 日前まで	2 回以内	散布	2 回以内
	キンモンホソガ ギンモンハモグリガ	2000~ 4000 倍					
	ハマキムシ類	2000~ 6000 倍					
なし	ハダニ類 ハマキムシ類	2000 倍		収穫 21 日前まで			
	ハダニ類						
もも	ハマキムシ類	4000 倍		収穫 7 日前まで			
	モモハモグリガ	2000~ 4000 倍					
ネクタリン	ハダニ類	2000 倍		収穫 7 日前まで			
	ハマキムシ類	4000 倍					
おうとう	ハマキムシ類 ヒメシロモンドクガ	4000 倍					
かんきつ	ミカンハモグリガ	2000~ 4000 倍					
	ミカンハダニ	1000~ 2000 倍					
茶	チャノコカクモンハマキ チャノホソガ チャミドリヒメコバイ チャハマキ ヨモギエダシヤク チャノキイロアザミウマ チャノホコリダニ	4000 倍	200~400 L/10a	摘採 7 日前まで			
キャベツ	コナガ アオムシ タマナギンウワバ ハスモンヨトウ ヨトウムシ ハイマダラノメイガ	2000~ 4000 倍	100~300 L/10a	収穫 14 日前まで			

10.0%フルフェノクスロン乳剤 (つづき)

作物名	適用 病害虫名	希釈 倍数	散布液量	使用時期	本剤の 使用回数	使用 方法	フルフェノ クスロンを 含む農薬の 総使用回数
はくさい	コナガ アオムシ ヨトウムシ	2000～ 4000 倍	100～300 L/10a	収穫 14 日前まで	2 回以内	散布	2 回以内
レタス 非結球レタス	ハスモンヨトウ オオタバコガ	4000 倍		収穫 3 日前まで	3 回以内		3 回以内
だいこん	アオムシ コナガ ハイマダラノメイガ	2000～ 4000 倍		収穫 14 日前まで			
わさびだいこん	コナガ	4000 倍		収穫 45 日前まで			
トマト	マメハモグリバエ オオタバコガ	2000～ 4000 倍		収穫前日まで	4 回以内		4 回以内
	ミカンキイロアザミウマ トマトハモグリバエ	2000 倍					
ミニトマト	マメハモグリバエ オオタバコガ	2000～ 4000 倍		2 回以内	2 回以内		2 回以内
	ミカンキイロアザミウマ トマトハモグリバエ	2000 倍					
なす	ミナミキイロアザミウマ	2000～ 4000 倍		開花期まで	4 回以内		4 回以内
	マメハモグリバエ ハダニ類	2000 倍					
ピーマン	オオタバコガ	4000 倍		収穫前日まで	3 回以内		3 回以内
セルリー	マメハモグリバエ コナジラミ類			収穫 14 日前まで			
パセリ	ハスモンヨトウ			収穫 7 日前まで	1 回		1 回
ねぎ	シロイチモジヨトウ			収穫 14 日前まで	3 回以内		3 回以内
いちご	ハスモンヨトウ ミカンキイロアザミウマ						
きゅうり	ミナミキイロアザミウマ			2000～ 4000 倍	収穫前日まで		4 回以内
	ウリノメイガ トマトハモグリバエ	2000 倍					

10.0%フルフェノクスロン乳剤 (つづき)

作物名	適用 病害虫名	希釈 倍数	散布液量	使用時期	本剤の 使用回数	使用 方法	フルフェノ クスロンを 含む農薬の 総使用回数	
すいか	ミナキイロアザミウマ オオタバコガ マメハモグリバエ	2000～ 4000 倍	100～300 L/10a	収穫 7 日前まで	4 回以内	散布	4 回以内	
	シロイチモジヨトウ	4000 倍						
メロン	ミナキイロアザミウマ	2000～ 4000 倍			3 回以内		3 回以内	3 回以内
	タバココナジラミ (シルバーリーフ コナジラミを含む) トマトハモグリバエ	2000 倍						
かぼちゃ	トマトハモグリバエ				2000 倍		収穫前日まで	3 回以内
しろうり	ウリノメイガ	2000 倍			1 回		1 回	
非結球あぶら な科葉菜類	コナガ アオムシ マメハモグリバエ				2 回以内		2 回以内	
てんさい	ヨトウムシ	2000～ 4000 倍			4 回以内		4 回以内	4 回以内
	テンサイモグリハバエ カメノコハムシ ナミハダニ	4000 倍						
アスパラガス	ハスモンヨトウ	2000～ 4000 倍			収穫前日まで		2 回以内	2 回以内
しゅんぎく	マメハモグリバエ アザミウマ類 ハスモンヨトウ ヨトウムシ				収穫 7 日前まで			
にがうり	マメハモグリバエ ウリノメイガ アザミウマ類	2000～ 4000 倍			収穫前日まで		4 回以内	4 回以内
なばな類	ヨトウムシ類 ハモグリバエ類		収穫 21 日前まで	3 回以内	3 回以内			
ほうれんそう	ハスモンヨトウ マメハモグリバエ シロオビノメイガ	4000 倍	収穫 3 日前まで					
さやえんどう	シロイチモジヨトウ	4000 倍	収穫前日まで	2 回以内	2 回以内			

10.0%フルフェノクスロン乳剤 (つづき)

作物名	適用 病害虫名	希釈 倍数	散布液量	使用時期	本剤の 使用回数	使用 方法	フルフェノ クスロンを 含む農薬の 総使用回数		
そらまめ	マメハモグリバエ	2000 倍	100～300 L/10a	収穫前日まで	3 回以内	散布	3 回以内		
さやいんげん					2 回以内		2 回以内		
未成熟そらまめ					3 回以内		3 回以内		
実えんどう	シロイチモジヨトウ	4000 倍			2 回以内		2 回以内	2 回以内	
未成熟ささげ									ハスモンヨトウ
未成熟ふじまめ	4000 倍	1 回			1 回				
きく (葉)	アザミウマ類	2000 倍		収穫 7 日前まで	2 回以内		2 回以内		
みつば	ハダニ類 キアゲハ	4000 倍		収穫前日まで	3 回以内		散布 但し花穂の発生 期にはマルチフ ィルム被覆によ り散布液が直接 花穂に飛散しな い状態で使用する	3 回以内	
ブロッコリー	ハスモンヨトウ	2000 倍							
みょうが (花穂)	みょうが (花穂) の収穫前日まで 但し、花穂を収穫し ない場合にあっては 開花期終了まで								
みょうが (茎葉)	アザミウマ類	200～700 L/10a	収穫 7 日前まで	2 回以内	2 回以内				
食用さくら (葉)	ハスモンヨトウ オオタバコガ	4000 倍	100～300 L/10a	収穫 3 日前まで	3 回以内	散布	3 回以内		
くきちしゃ	2 回以内								
しそ	ハスモンヨトウ			2 回以内	収穫 7 日前まで			2 回以内	
食用トレニア									収穫前日まで
はっか									
チャービル	2000 倍	収穫 3 日前まで	3 回以内	3 回以内					
ゆきのした									
つるむらさき									
とうがん	メキイロアザミウマ								

10.0%フルフェノクスロン乳剤 (つづき)

作物名	適用 病害虫名	希釈 倍数	散布液量	使用時期	本剤の 使用回数	使用 方法	フルフェノ クスロンを 含む農薬の 総使用回数
食用ぎく	マメハモグリバエ ミカンキイロアザミウマ	2000 倍	100~300 L/10a	収穫 7 日前まで	2 回以内	散布	2 回以内
甘長とうがらし	ミナキイロアザミウマ	4000 倍		収穫前日まで	3 回以内		3 回以内
バジル	ハスモンヨトウ マメハモグリバエ			収穫 3 日前まで	2 回以内		2 回以内
はつかだいこん	アオムシ コナガ ハイマダラノメイガ			収穫 7 日前まで	1 回		1 回
だいず	ハスモンヨトウ	150~300 L/10a		2 回以内	2 回以内		
えだまめ							
ししとう	オオタバコガ	2000 倍	100~300 L/10a	収穫前日まで	3 回以内	3 回以内	

6. 作物残留試験結果

(1) 分析の概要

① 分析対象の化合物

フルフェノクスロン

② 分析法の概要

試料をアセトン又はジクロロメタンで抽出・濃縮後、ヘキサンに溶解し、アセトニトリルへ分配する。フロリジルカラム及びシリカゲルカラムで精製し、高速液体クロマトグラフィー（紫外分光光度型検出器）で定量する。

検出限界 0.002~0.2 ppm

(2) 作物残留試験結果

① りんご

りんご（可食部）を用いた作物残留試験（2例）において、10%乳剤の2,000倍希釈液を計2回散布（500L/10a）したところ、散布後14~29日の最大残留量^{注1}は0.342, 0.231 ppmであった。

りんご（可食部）を用いた作物残留試験（2例）において、10%乳剤の2,000倍希釈液を計2回散布（400, 600L/10a）したところ、散布後14~90日の最大残留量は0.265, 0.228 ppmであった。

りんご（可食部）を用いた作物残留試験（1例）において、10%乳剤の2,000倍希釈液を計2回散布（600L/10a）したところ、散布後14～90日の最大残留量は0.20 ppmであった。

②なし

なし（可食部）を用いた作物残留試験（2例）において、10%乳剤の2,000倍希釈液を計2回散布（240, 500L/10a）したところ、散布後14～30日の最大残留量は0.088, 0.144 ppmであった。

③もも

もも（果肉）を用いた作物残留試験（2例）において、10%乳剤の2,000倍希釈液を計2回散布（400, 300L/10a）したところ、散布後14～21日の最大残留量は0.006, <0.005 ppmであった。

④みかん

みかん（果肉）を用いた作物残留試験（2例）において、10%乳剤の1,000倍希釈液を計2回散布（500L/10a）したところ、散布後7～14日の最大残留量は0.025, 0.020 ppmであった。

みかん（果皮）を用いた作物残留試験（2例）において、10%乳剤の1,000倍希釈液を計2回散布（500L/10a）したところ、散布後7～14日の最大残留量は4.17, 1.80 ppmであった。

みかん（果実全体）^{註2}を用いた作物残留試験（2例）において、10%乳剤の1,000倍希釈液を計2回散布（500L/10a）したところ、散布後7～14日の最大残留量は0.629, 0.313 ppmであった。

⑤なつみかん

なつみかん（果肉）を用いた作物残留試験（2例）において、10%乳剤の1,000倍希釈液を計2回散布（500, 900L/10a）したところ、散布後7～14日の最大残留量は0.053, 0.030 ppmであった。

なつみかん（果皮）を用いた作物残留試験（2例）において、10%乳剤の1,000倍希釈液を計2回散布（500, 900L/10a）したところ、散布後7～14日の最大残留量は1.32, 1.1 ppmであった。

なつみかん（果実全体）^{註2}を用いた作物残留試験（2例）において、10%乳剤の1,000倍希釈液を計2回散布（500, 900L/10a）したところ、散布後7～14日の最大残留量は0.40, 0.4 ppmであった。

⑥茶

茶（荒茶）を用いた作物残留試験（2例）において、10%乳剤の4,000倍希釈液を計2回散布（400L/10a）したところ、散布後7～14日の最大残留量は7.94, 7.66 ppmであった。

茶（浸出液）を用いた作物残留試験（2例）において、10%乳剤の4,000倍希釈液を計2回散布（400L/10a）したところ、散布後7～14日の最大残留量は0.06, 0.08 ppmであった。

⑦キャベツ

キャベツ（葉球）を用いた作物残留試験（2例）において、10%乳剤の2,000倍希釈液を計2回散布（100～180, 200L/10a）したところ、散布後13～14日の最大残留量は0.038, 0.022 ppmであった。

⑧はくさい

はくさい（葉球）を用いた作物残留試験（2例）において、10%乳剤の2,000倍希釈液を計2回散布（200L/10a）したところ、散布後14日の最大残留量は0.145, 0.019 ppmであった。

はくさい（葉球）を用いた作物残留試験（4例）において、10%乳剤の2,000倍希釈液を計2回散布（200L/10a）したところ、散布後14日の最大残留量は0.052, 0.020, 0.026, 0.004 ppmであった。

はくさい（葉球）を用いた作物残留試験（2例）において、10%乳剤の4,000倍希釈液を計2回散布（200L/10a）したところ、散布後14～21日の最大残留量は0.075, 0.018 ppmであった。

⑨メロン

メロン（果実）を用いた作物残留試験（2例）において、10%乳剤の2,000倍希釈液を計3回散布（300L/10a）したところ、散布後7～14日の最大残留量は0.002, 0.002 ppmであった。

⑩てんさい

てんさい（根部）を用いた作物残留試験（2例）において、10%乳剤の2,000倍希釈液を計4回散布（300L/10a）したところ、散布後7～14日の最大残留量は0.069, 0.030 ppmであった。

てんさい（葉）を用いた作物残留試験（2例）において、10%乳剤の2,000倍希釈液を計4回散布（300L/10a）したところ、散布後7～14日の最大残留量は3.21, 7.86 ppmであった。

⑪おうとう

おうとう（果実）を用いた作物残留試験（2例）において、10%乳剤の4,000倍希釈液を計2回散布（300, 400L/10a）したところ、散布後7～21日の最大残留量は0.11, 0.66 ppmであった。

⑫ トマト

トマト（果実）を用いた作物残留試験（2例）において、10%乳剤の2,000倍希釈液を計4回散布（250～300, 200L/10a）したところ、散布後1～7日の最大残留量は0.11, 0.14 ppmであった。

⑬ いちご

いちご（果実）を用いた作物残留試験（2例）において、10%乳剤の4,000倍希釈液を計3回散布（150L/10a）したところ、散布後1～7日の最大残留量は0.06, 0.14 ppmであった。

⑭ だいこん

だいこん（根）を用いた作物残留試験（2例）において、10%乳剤の2,000倍希釈液を計3回散布（200L/10a）したところ、散布後13～30日の最大残留量は0.02, 0.02 ppmであった。

だいこん（葉）を用いた作物残留試験（2例）において、10%乳剤の2,000倍希釈液を計3回散布（200L/10a）したところ、散布後13～30日の最大残留量は2.46, 0.44 ppmであった。

⑭ セロリ

セロリ（茎）を用いた作物残留試験（2例）において、10%乳剤の2,000倍希釈液を計3回散布（150, 180L/10a）したところ、散布後14～22日の最大残留量は0.28, 0.97 ppmであった。ただし、この試験は、適用範囲内で行われていない。

セロリ（葉）を用いた作物残留試験（2例）において、10%乳剤の2,000倍希釈液を計3回散布（150, 180L/10a）したところ、散布後14～22日の最大残留量は2.55, 8.12 ppmであった。ただし、この試験は、適用範囲内で行われていない。

セロリ（茎葉）^{注3}を用いた作物残留試験（2例）において、10%乳剤の2,000倍希釈液を計3回散布（150, 180L/10a）したところ、散布後14～22日の最大残留量は0.85, 3.19 ppmであった。ただし、この試験は、適用範囲内で行われていない。

⑮ 葉ねぎ

葉ねぎ（茎葉）を用いた作物残留試験（2例）において、10%乳剤の4,000倍希釈液を計3回散布（150 L/10a）したところ、散布後14～21日の最大残留量は1.52, 0.12 ppmであった。

⑯ 深ねぎ

深ねぎ（茎葉）を用いた作物残留試験（2例）において、10%乳剤の2,000倍希釈液を計4回散布（200 L/10a）したところ、散布後14日の最大残留量は0.159, 1.04 ppmであった。ただし、この試験は、適用範囲内で行われていない。

⑰なす

なす（果実）を用いた作物残留試験（2例）において、10%乳剤の1,000倍希釈液を計4回散布（250, 200~250L/10a）したところ、散布後1~7日の最大残留量は0.18, 0.68 ppmであった。ただし、この試験は、適用範囲内で行われていない。

⑱すいか

すいか（果実）を用いた作物残留試験（2例）において、10%乳剤の2,000倍希釈液を計4回散布（250, 300L/10a）したところ、散布後7~21日の最大残留量は0.03, <0.01 ppmであった。

⑲アスパラガス

アスパラガス（茎）を用いた作物残留試験（2例）において、10%乳剤の4,000倍希釈液を計2回散布（300, 280L/10a）したところ、散布後1~14日の最大残留量は0.14, 0.15 ppmであった。

⑳しゅんぎく

しゅんぎく（茎葉）を用いた作物残留試験（2例）において、10%乳剤の2,000倍希釈液を計2回散布（200, 160L/10a）したところ、散布後7~21日の最大残留量は5.60, 3.27 ppmであった。

㉑チンゲンサイ

チンゲンサイ（茎葉）を用いた作物残留試験（1例）において、10%乳剤の1,000倍希釈液を計2回散布（200L/10a）したところ、散布後7日の最大残留量は2.48 ppmであった。ただし、この試験は、適用範囲内で行われていない。

チンゲンサイ（茎葉）を用いた作物残留試験（1例）において、10%乳剤の2,000倍希釈液を計2回散布（200L/10a）したところ、散布後7日の最大残留量は0.46 ppmであった。

㉒ピーマン

ピーマン（果実）を用いた作物残留試験（2例）において、10%乳剤の2,000倍希釈液を計2回散布（250, 200L/10a）したところ、散布後1~7日の最大残留量は0.34, 0.50 ppmであった。

㉓こまつな

こまつな（茎葉）を用いた作物残留試験（2例）において、10%乳剤の2,000倍希釈液を計2回散布（100L/10a）したところ、散布後7日の最大残留量は3.08, 0.81 ppmであった。

㉔未成熟えんどう

未成熟えんどう(さや)を用いた作物残留試験(2例)において、10%乳剤の4,000倍希釈液を計2回散布(300, 294L/10a)したところ、散布後1~7日の最大残留量は0.36, 0.30 ppmであった。

㉕未成熟そらまめ

未成熟そらまめ(子実)を用いた作物残留試験(2例)において、10%乳剤の2,000倍希釈液を計3回散布(200, 150L/10a)したところ、散布後1~7日の最大残留量は<0.01, 0.02 ppmであった。

㉖そらまめ

そらまめ(乾燥子実)を用いた作物残留試験(2例)において、10%乳剤の2,000倍希釈液を計3回散布(200L/10a)したところ、散布後1~7日の最大残留量は0.03, <0.01 ppmであった。

㉗きゅうり

きゅうり(果実)を用いた作物残留試験(2例)において、10%乳剤の2,000倍希釈液を計4回散布(185~300L/10a)したところ、散布後1~7日の最大残留量は0.14, 0.13 ppmであった。

㉘ほうれんそう

ほうれんそう(茎葉)を用いた作物残留試験(2例)において、10%乳剤の4,000倍希釈液を計4回散布(150, 300L/10a)したところ、散布後3~14日の最大残留量は3.90, 4.53 ppmであった。

㉙レタス

レタス(茎葉)を用いた作物残留試験(2例)において、10%乳剤の4,000倍希釈液を計3回散布(250, 285L/10a)したところ、散布後3~14日の最大残留量は0.16, 0.48 ppmであった。

㊱みずな

みずな(茎葉)を用いた作物残留試験(2例)において、10%乳剤の2,000倍希釈液を計2回散布(200L/10a)したところ、散布後7~14日の最大残留量は3.26, 2.68 ppmであった。

㊲未成熟いんげん

未成熟いんげん(さや)を用いた作物残留試験(2例)において、10%乳剤の2,000倍希釈液を計2回散布(300, 150L/10a)したところ、散布後1~14日の最大残留量は0.48, 0.39 ppmであった。

③③しろな

しろな（茎葉）を用いた作物残留試験（2例）において、10%乳剤の2,000倍希釈液を計2回散布（150L/10a）したところ、散布後7～21日の最大残留量は2.19, 1.20 ppmであった。

③④みつば

みつば（茎葉）を用いた作物残留試験（2例）において、10%乳剤の2,000倍希釈液を計2回散布（150L/10a）したところ、散布後7～21日の最大残留量は5.88, 3.80 ppmであった。

③⑤パセリ

パセリ（茎葉）を用いた作物残留試験（2例）において、10%乳剤の4,000倍希釈液を計1回散布（250, 200L/10a）したところ、散布後7～21日の最大残留量は4.80, 3.25 ppmであった。

③⑥大豆

大豆（乾燥子実）を用いた作物残留試験（2例）において、10%乳剤の1,000倍希釈液を計2回散布（200L/10a）したところ、散布後14～21日の最大残留量は0.064, 0.047 ppmであった。ただし、この試験は、適用範囲内で行われていない。

大豆（乾燥子実）を用いた作物残留試験（2例）において、10%乳剤の4,000倍希釈液を計2回散布（150, 200L/10a）したところ、散布後7～21日の最大残留量は<0.01, <0.01 ppmであった。

③⑦えだまめ

えだまめ（未成熟大豆）を用いた作物残留試験（2例）において、10%乳剤の4,000倍希釈液を計2回散布（250, 200L/10a）したところ、散布後7～14日の最大残留量は1.09, 1.54 ppmであった。

③⑧ネクタリン

ネクタリン（果実）を用いた作物残留試験（2例）において、10%乳剤の2,000倍希釈液を計2回散布（270, 300L/10a）したところ、散布後21～28日の最大残留量は0.18, 0.22 ppmであった。

③⑨未成熟ささげ

未成熟ささげ（実）を用いた作物残留試験（2例）において、10%乳剤の4,000倍希釈液を計2回散布（200L/10a）したところ、散布後1～7日の最大残留量は0.1, 0.3 ppmであった。

④⑩ ミニトマト

ミニトマト（果実）を用いた作物残留試験（2例）において、10%乳剤の2,000倍希釈液を計2回散布（300, 200L/10a）したところ、散布後1～7日の最大残留量は0.19, 0.10 ppmであった。

④⑪ ししとう

ししとう（果実）を用いた作物残留試験（2例）において、10%乳剤の2,000倍希釈液を計3回散布（307, 350L/10a）したところ、散布後1～7日の最大残留量は1.14, 0.49 ppmであった。ただし、この試験は、適用範囲内で行われていない。

④⑫ ブロッコリー

ブロッコリー（花蕾・果実）を用いた作物残留試験（2例）において、10%乳剤の2,000倍希釈液を計2回散布（300, 200L/10a）したところ、散布後7～21日の最大残留量は1.59, 0.20 ppmであった。

④⑬ みょうが

みょうが（花蕾）を用いた作物残留試験（2例）において、10%乳剤の2,000倍希釈液を計3回散布（300L/10a）したところ、散布後1～7日の最大残留量は<0.04, <0.04 ppmであった。

④⑭ 未成熟ふじまめ

未成熟ふじまめ（果実）を用いた作物残留試験（2例）において、10%乳剤の3,000倍希釈液を計2回散布（200L/10a）したところ、散布後1～14日の最大残留量は0.3, 0.3 ppmであった。

④⑮ かぼちゃ

かぼちゃ（果実）を用いた作物残留試験（2例）において、10%乳剤の2,000倍希釈液を計3（170L/10a）または4回散布（150L/10a）したところ、散布後1～15日の最大残留量は0.04, 0.02 ppmであった。ただし、4回散布した試験は、適用範囲内で行われていない。

④⑯ しろうり

しろうり（果実）を用いた作物残留試験（2例）において、10%乳剤の2,000倍希釈液を計1回散布（200L/10a）したところ、散布後1～7日の最大残留量は<0.05, <0.05 ppmであった。

④⑰ リーフレタス

リーフレタス（茎葉）を用いた作物残留試験（1例）において、10%乳剤の4,000倍希釈液を計4^回または3回散布（200L/10a）したところ、散布後3～14日の最大残留量は2.34, 1.22 ppmであった。

④⑧ サラダ菜

サラダ菜（茎葉）を用いた作物残留試験（2例）において、10%乳剤の4,000倍希釈液を計1回散布（150～200, 200L/10a）したところ、散布後3～14日の最大残留量は3.6, 1.8 ppmであった。

④⑨ すだち

すだち（果実）を用いた作物残留試験（1例）において、10%乳剤の1,000倍希釈液を計2回散布（500L/10a）したところ、散布後14～21日の最大残留量は0.60 ppmであった。

④⑩ かぼす

かぼす（果実）を用いた作物残留試験（1例）において、10%乳剤の1,000倍希釈液を計2回散布（640L/10a）したところ、散布後7～20日の最大残留量は0.38 ppmであった。

④⑪ わさびだいこん

わさびだいこん（花蕾）を用いた作物残留試験（2例）において、10%乳剤の4,000倍希釈液を計3回散布（120L/10a）したところ、散布後45日の最大残留量は0.01, <0.01 ppmであった。

④⑫ 食用さくら

食用さくら（葉）を用いた作物残留試験（2例）において、10%乳剤の4,000倍希釈液を計2回散布（120L/10a）したところ、散布後7～14日の最大残留量は2.74, 3.08 ppmであった。

④⑬ しそ

しそ（葉）を用いた作物残留試験（2例）において、10%乳剤の4,000倍希釈液を計2回散布（200L/10a）したところ、散布後3～14日の最大残留量は5.54, 4.73 ppmであった。

④⑭ くきちしゃ

くきちしゃ（茎葉）を用いた作物残留試験（2例）において、10%乳剤の4,000倍希釈液を計3回散布（150L/10a）したところ、散布後3～14日の最大残留量は0.22, 0.26 ppmであった。

④⑮ バジル

バジル（茎葉）を用いた作物残留試験（2例）において、10%乳剤の4,000倍希釈液を計2回散布（200L/10a）したところ、散布後3～14日の最大残留量は2.50, 3.10 ppmであった。

⑤⑥ 食用トレニア

食用トレニア（花器全体）を用いた作物残留試験（2例）において、10%乳剤の4,000倍希釈液を計2回散布（150L/10a）したところ、散布後3～14日の最大残留量は2.45, 1.70 ppmであった。

⑤⑦ はっか

はっか（茎葉）を用いた作物残留試験（2例）において、10%乳剤の4,000倍希釈液を計2回散布（150L/10a）したところ、散布後3～14日の最大残留量は2.60, 3.21 ppmであった。

⑤⑧ ゆきのした

ゆきのした（葉）を用いた作物残留試験（2例）において、10%乳剤の4,000倍希釈液を計2回散布（100, 150L/10a）したところ、散布後7～14日の最大残留量は4.08, 3.50 ppmであった。

⑤⑨ チャービル

チャービル（茎葉）を用いた作物残留試験（2例）において、10%乳剤の4,000倍希釈液を計2回散布（150L/10a）したところ、散布後7～14日の最大残留量は4.37, 5.50 ppmであった。

⑥⑩ つるむらさき

つるむらさき（茎葉）を用いた作物残留試験（2例）において、10%乳剤の4,000倍希釈液を計2回散布（300L/10a）したところ、散布後1～14日の最大残留量は1.64, 2.66 ppmであった。

⑥⑪ とうがん

とうがん（果実）を用いた作物残留試験（2例）において、10%乳剤の2,000倍希釈液を計3回散布（255, 267L/10a）したところ、散布後3～14日の最大残留量は0.09, 0.12 ppmであった。

⑥⑫ 食用ぎく

食用ぎく（花）を用いた作物残留試験（2例）において、10%乳剤の2,000倍希釈液を計2回散布（200L/10a）したところ、散布後7～21日の最大残留量は0.9, 1.0 ppmであった。

⑥⑬ 甘長とうがらし

甘長とうがらし（果実）を用いた作物残留試験（2例）において、10%乳剤の4,000倍希釈液を計3回散布（300L/10a）したところ、散布後1～7日の最大残留量は0.4, <0.2 ppmであった。

④はつかだいこん

はつかだいこん（根）を用いた作物残留試験(2例)において、10%乳剤の4,000倍希釈液を計1回散布(100L/10a)したところ、散布後7~21日の最大残留量は0.02, <0.02 ppmであった。

はつかだいこん（葉）を用いた作物残留試験(2例)において、10%乳剤の4,000倍希釈液を計1回散布(100L/10a)したところ、散布後7~21日の最大残留量は3.1, 2.3 ppmであった。

これらの試験結果の概要については、別紙1を参照。

注1) 最大残留量：当該農薬の申請の範囲内で最も多量に用い、かつ最終使用から収穫までの期間を最短とした場合の作物残留試験(いわゆる最大使用条件下の作物残留試験)を実施し、それぞれの試験から得られた残留量。

(参考：平成10年8月7日付「残留農薬基準設定における暴露評価の精密化に関する意見具申」)

注2) みかん及びなつみかんの果実全体は果肉：果皮の重量比から算出した。

注3) セロリの茎葉は茎：葉の重量比から算出した。

注4) リーフレタスの圃場Aにおける試験については、定められた適用回数を超えて試験がなされているが、第1回目散布の20分後に降雨があり、再散布した結果によるものであることから、基準値策定の根拠とした。

7. ADIの評価

食品安全基本法(平成15年法律第48号)第24条第1項第1号の規定に基づき、平成16年8月3日付厚生労働省発食安第0803002号及び同法第24条第2項の規定に基づき、平成18年7月18日付厚生労働省発食安第0718003号により食品安全委員会あて意見を求めたフルフェノクスロンに係る食品健康影響評価について、以下のとおり評価されている。

無毒性量：3.7 mg/kg 体重/day

(動物種) イヌ

(投与方法) 混餌投与

(試験の種類/期間) 慢性毒性試験/1年間

安全係数：100

ADI：0.037 mg/kg 体重/day

8. 諸外国における状況

JMPRにおける毒性評価はなされておらず、国際基準も設定されていない。

米国、カナダ、欧州連合(EU)、オーストラリア及びニュージーランドについて調査した結果、米国においてりんご、なし等に基準値が設定されている。

9. 基準値案

(1) 残留の規制対象

フルフェノクスロン本体

なお、食品安全委員会によって作成された食品健康影響評価においては、暴露評価対象物質としてフルフェノクスロンを設定している。

(2) 基準値案

別紙2のとおりである。

別紙2中で「基準値現行」の欄において0.02ppmの基準値を設定している農産物（メロン類果実を除く。）は、本来、食品衛生法第11条第3項の規定に基づき、「人の健康を損なうおそれのない量として厚生労働大臣が薬事・食品衛生審議会の意見を聴いて定める量」（一律基準）である0.01ppmで規制するところ、分析法の状況を考慮し、0.01ppmまでの分析が困難と考えられたことから0.02ppmの残留基準を設定したものである。今回、本剤については0.01ppmまでの分析が可能となったことから、個別に基準を設定する大豆を除くこれらの作物については、0.02ppmの基準を削除し、一律基準（0.01ppm）で規制することとした。

(3) 暴露評価

各食品について基準値案の上限まで又は作物残留試験成績等のデータから推定される量のフルフェノクスロンが残留していると仮定した場合、国民栄養調査結果に基づき試算される、1日当たり摂取する農薬の量（理論最大摂取量（TMDI））のADIに対する比は、以下のとおりである。詳細な暴露評価は別紙3参照。

なお、本暴露評価は、各食品分類において、加工・調理による残留農薬の増減が全くないとの仮定の下におこなった。

	TMDI / ADI (%) ^{注)}
国民平均	42.8
幼小児（1～6歳）	77.6
妊婦	33.4
高齢者（65歳以上）	46.8

TMDI 試算：基準値案×摂取量

(4) 本剤については、平成17年11月29日付け厚生労働省告示第499号により、食品一般の成分規格7に食品に残留する量の限度（暫定基準）が定められているが、今般、残留基準の見直しを行うことに伴い、暫定基準は削除される。

フルフェノクスロン作物残留試験一覧表

農作物	試験圃場数	試験条件			最大残留量 (ppm)
		使用量・使用方法	回数	経過日数	
りんご※ (可食部)	2	2000倍散布 500L/10a	2回	20, 29日 14, 21, 28日	圃場A:0.342 (2回、29日) 圃場B:0.231 (2回、28日)
りんご※ (可食部)	2	2000倍散布 400, 600L/10a	2回	14, 21, 30, 45, 60, 90日	圃場A:0.265 圃場B:0.228
りんご※ (可食部)	1	2000倍散布 600L/10a	2回	14, 21, 30, 45, 60, 90日	圃場A:0.20
なし (可食部)	2	2000倍散布 240, 500L/10a	2回	14, 21, 30日	圃場A:0.088 圃場B:0.144
もも (果肉)	2	2000倍散布 400, 300L/10a	2回	14, 21日	圃場A:0.006 圃場B:<0.005
みかん (果肉)	2	1000倍散布 500L/10a	2回	7, 14日	圃場A:0.025 圃場B:0.020 (2回、14日)
みかん※ (果皮)	2	1000倍散布 500L/10a	2回	7, 14日	圃場A:4.17 (2回、14日) 圃場B:1.80
みかん (果実全体)	2	1000倍散布 500L/10a	2回	7, 14日	圃場A:0.629 (2回、14日) 圃場B:0.313
なつみかん (果肉)	2	1000倍散布 500, 900L/10a	2回	7, 14日	圃場A:0.053 (2回、14日) 圃場B:0.030
なつみかん (果皮)	2	1000倍散布 500, 900L/10a	2回	7, 14日	圃場A:1.32 (2回、14日) 圃場B:1.1
なつみかん (果実全体)	2	1000倍散布 500, 900L/10a	2回	7, 14日	圃場A:0.40 圃場B:0.4 (2回、14日)
茶 (荒茶)	2	4000倍散布 400L/10a	2回	7, 14日	圃場A:7.94 圃場B:7.66 (1回、7日)
茶 (浸出液)	2	4000倍散布 400L/10a	2回	7, 14日	圃場A:0.06 圃場B:0.08 (1回、7日)
キャベツ (葉球)	2	2000倍散布 100~180, 200L/10a	2回	14日 13日	圃場A:0.038 圃場B:0.022 (2回、13日)
はくさい※ (葉球)	2	2000倍散布 200L/10a	2回	14日	圃場A:0.145 圃場B:0.019
はくさい※ (葉球)	4	2000倍散布 200L/10a	2回	14日	圃場A:0.052 圃場B:0.020 圃場C:0.026 圃場D:0.004
はくさい※ (葉球)	2	4000倍散布 200L/10a	2回	14, 21日	圃場A:0.075 (1回、14日) 圃場B:0.018 (1回、14日)
メロン (果実)	2	2000倍散布 300L/10a	3回	7, 14日	圃場A:0.002 圃場B:0.002
てんさい (根部)	2	2000倍散布 200L/10a	4回	14, 21日	圃場A:0.069 圃場B:0.030
てんさい (葉)	2	2000倍散布 200L/10a	4回	14日	圃場A:3.21 圃場B:7.86
おうとう※ (果実)	2	4000倍散布 300, 400L/10a	2回	7, 14, 21日	圃場A:0.11 (2回、14日) 圃場B:0.66
トマト (果実)	2	2000倍散布 250~300, 200L/10a	4回	1日	圃場A:0.11 圃場B:0.14

農作物	試験圃場数	試験条件			最大残留量 (ppm)
		使用量・使用方法	回数	経過日数	
いちご (果実)	2	4000倍散布 150L/10a	3回	1, 3, 7日	圃場A:0.06 圃場B:0.14
だいこん (根)	2	2000倍散布 200L/10a	3回	14, 21, 30日 13, 20, 29日	圃場A:0.02 (3回、21日) 圃場B:0.02 (3回、13日)
だいこん (葉)	2	2000倍散布 200L/10a	3回	14, 21, 30日 13, 20, 29日	圃場A:2.46 圃場B:0.44 (3回、13日)
セロリ (茎)	2	2000倍散布 150, 180L/10a	3回	14, 22日 14, 21日	圃場A:0.28(＃) (3回、14日) 圃場B:0.97(＃) (3回、14日)
セロリ (茎)	2	2000倍散布 150, 180L/10a	3回	14, 22日 14, 21日	圃場A:2.55(＃) (3回、14日) 圃場B:8.12(＃) (3回、14日)
セロリ (茎葉)	2	2000倍散布 150, 180L/10a	3回	14, 22日 14, 21日	圃場A:0.85(＃) (3回、14日) 圃場B:3.19(＃) (3回、14日)
葉ねぎ (茎葉)	2	4000倍散布 150L/10a	3回	14, 21日	圃場A:1.52 圃場B:0.12 (2回、14日)
深ねぎ (茎葉)	2	2000倍散布 200L/10a	4回	14日	圃場A:0.159(＃) 圃場B:1.04(＃)
なす (果実)	2	1000倍散布 250, 200~250L/10a	4回	1, 3, 7日	圃場A:0.18(＃) 圃場B:0.68(＃)
すいか※ (果実)	2	2000倍散布 250, 300L/10a	4回	7, 14, 21日	圃場A:0.03 (4回、14日) 圃場B:<0.01
アスパラガス (茎)	2	4000倍散布 300, 280L/10a	2回	1, 3, 7, 14日	圃場A:0.14 圃場B:0.15
しゅんぎく (茎葉)	2	2000倍散布 200, 160L/10a	2回	7, 14日 7, 14, 21日	圃場A:5.60 圃場B:3.27
チンゲンサイ※ (茎葉)	1	1000倍散布 200L/10a	2回	7日	圃場A:2.48 (2回、7日) (＃)
チンゲンサイ※ (茎葉)	1	2000倍散布 200L/10a	2回	7日	圃場A:0.46
ピーマン (果実)	2	2000倍散布 250, 200L/10a	3回	1, 3, 7日	圃場A:0.34 圃場B:0.50
こまつな※ (茎葉)	2	2000倍散布 100L/10a	2回	7日	圃場A:3.08 圃場B:0.81 (1回、7日)
未成熟えんどう (さや)	2	4000倍散布 300, 294L/10a	2回	1, 3, 7日	圃場A:0.36 圃場B:0.30
未成熟そらまめ (子実)	2	2000倍散布 200, 150L/10a	3回	1, 3, 7日	圃場A:<0.01 圃場B:0.02
そらまめ (乾燥子実)	2	2000倍散布 200L/10a	3回	1, 3, 7日	圃場A:0.03 圃場B:<0.01
きゅうり (果実)	2	2000倍散布 185~300L/10a	4回	1, 3, 7日	圃場A:0.14 圃場B:0.13
ほうれんそう (茎葉)	2	4000倍散布 150, 300L/10a	3回	3, 7, 14日	圃場A:3.90 圃場B:4.53
レタス (茎葉)	2	4000倍散布 250, 285L/10a	3回	3, 7, 14日	圃場A:0.16 (3回、7日) 圃場B:0.48
みずな※ (茎葉)	2	2000倍散布 200L/10a	2回	7, 10, 14日	圃場A:3.26 (1回、7日) 圃場B:2.68
未成熟いんげん (さや)	2	2000倍散布 300, 150L/10a	2回	1, 7, 14日	圃場A:0.48 圃場B:0.39
しろな (茎葉)	2	2000倍散布 150L/10a	2回	7, 14, 21日	圃場A:2.19 圃場B:1.20

農作物	試験圃場数	試験条件			最大残留量 (ppm)
		使用量・使用方法	回数	経過日数	
みつば (茎葉)	2	2000倍散布 150L/10a	2回	7, 14, 21日	圃場A:5.88 圃場B:3.80
パセリ (茎葉)	2	4000倍散布 250, 200L/10a	1回	7, 14, 21日	圃場A:4.80 圃場B:3.25
だいず (乾燥子実)	2	1000倍散布 200L/10a	2回	14, 21日	圃場A:0.064 (2回、14日) (#) 圃場B:0.047 (2回、14日) (#)
だいず (乾燥子実)	2	4000倍散布 150, 200L/10a	2回	7, 14, 21日	圃場A:<0.01 圃場B:<0.01
えだまめ※ (さや)	2	4000倍散布 250, 200L/10a	2回	7, 14日	圃場A:1.09 圃場B:1.54
ネクタリン (果実)	2	2000倍散布 270, 300L/10a	2回	21, 28日	圃場A:0.18 (2回、28日) 圃場B:0.22
未成熟ささげ (実)	2	4000倍散布 200L/10a	2回	1, 3, 7日	圃場A:0.1 圃場B:0.3
ミニトマト (果実)	2	2000倍散布 300, 200L/10a	2回	1, 3, 7日	圃場A:0.19 (2回、7日) 圃場B:0.10 (2回、3日)
ししとう (果実)	2	2000倍散布 307, 350L/10a	3回	1, 3, 7日	圃場A:1.14 (3回、3日) (#) 圃場B:0.49 (3回、1日) (#)
ブロッコリー※ (花蕾・果実)	2	2000倍散布 300, 200L/10a	2回	7, 14, 21日	圃場A:1.59 圃場B:0.20
みょうが (花蕾)	2	2000倍散布 300L/10a	3回	1, 3, 7日	圃場A:<0.04 圃場B:<0.04
未成熟ふじまめ (果実)	2	3000倍散布 200L/10a	2回	1, 3, 7, 14日	圃場A:0.3 (2回、3日) 圃場B:0.3
かぼちゃ (果実)	1	2000倍散布 170L/10a	3回	1, 8, 15日	圃場A:0.04 (3回、8日)
かぼちゃ (果実)	1	2000倍散布 150L/10a	4回	1, 3, 7日	圃場A:0.02 (4回、1日) (#)
しろうり (果実)	2	2000倍散布 200L/10a	1回	1, 3, 7日	圃場A:<0.05 圃場B:<0.05
リーフレタス (茎葉)	1	4000倍散布 200L/10a	4回	3, 7, 14日	圃場A:2.34 (4回、1日) (#) (\$)
リーフレタス (茎葉)	1	4000倍散布 200L/10a	3回	3, 7, 14日	圃場A:1.22
サラダ菜※ (茎葉)	2	4000倍散布 150~200, 200L/10a	3回	3, 7, 14日	圃場A:3.6 圃場B:1.8
すだち※ (果実)	1	1000倍散布 500L/10a	2回	14, 21日	圃場A:0.60 (2回、14日)
かぼす (果実)	1	1000倍散布 640L/10a	2回	7, 14, 21日	圃場A:0.38
わさびだいこん (花蕾)	2	4000倍散布 120L/10a	3回	45日	圃場A:0.01 圃場B:<0.01
食用さくら (葉)	2	4000倍散布 120L/10a	2回	7, 14日	圃場A:2.74 圃場B:3.08
しそ (葉)	2	4000倍散布 200L/10a	3回	3, 7, 14日	圃場A:5.54 圃場B:4.73
くきちしゃ (茎葉)	2	4000倍散布 150L/10a	3回	3, 7, 14日	圃場A:0.22 圃場B:0.26
バジル (茎葉)	2	4000倍散布 200L/10a	2回	3, 7, 14日	圃場A:2.50 圃場B:3.10

農作物	試験圃場数	試験条件			最大残留量 (ppm)
		使用量・使用方法	回数	経過日数	
食用トレニア (花器全体)	2	4000倍散布 150L/10a	2回	3, 7, 14日	圃場A:2.45 圃場B:1.70
はっか (茎葉)	2	4000倍散布 150L/10a	2回	3, 7, 14日	圃場A:2.60 圃場B:3.21
ゆきのした (葉)	2	4000倍散布 100, 150L/10a	2回	7, 14日	圃場A:4.08 圃場B:3.50
チャービル (茎葉)	2	4000倍散布 150L/10a	2回	7, 14日	圃場A:4.37 圃場B:5.50
つるむらさき (茎葉)	2	4000倍散布 300L/10a	2回	1, 3, 7, 14日	圃場A:1.64 圃場B:2.66
とうがん (果実)	2	2000倍散布 255, 267L/10a	3回	3, 7, 14日	圃場A:0.09 (3回、7日) 圃場B:0.12 (3回、7日)
食用ぎく (花)	2	2000倍散布 200L/10a	2回	7, 14, 21日	圃場A:0.9 圃場B:1.0
甘長とうがらし (果実)	2	4000倍散布 300L/10a	3回	1, 3, 7日	圃場A:0.4 圃場B:<0.2
はつかだいこん (根)	2	4000倍散布 100L/10a	1回	7, 14, 21日	圃場A:0.02 圃場B:0.02
はつかだいこん※ (葉)	2	4000倍散布 100L/10a	1回	7, 14, 21日	圃場A:3.1 圃場B:2.3

(#) これらの作物残留試験は、申請の範囲内で試験が行われていない。

(※) 印で示した作物については、申請の範囲内で最高の値を示した括弧内に示す条件において得られた値を採用した。

最大使用条件下の作物残留試験条件に、アンダーラインを付している。

(\$) リーフレタスの圃場Aにおける試験については、定められた適用回数を超えて試験がなされているが、第1回目散布の20分後に降雨があり、再散布した結果によるものであることから、基準値策定の根拠とした。

なお、食品安全委員会農薬専門調査会の農薬評価書「フルフェノクスロン」に記載されている作物残留試験成績は、各試験条件における残留農薬の最高値及び各試験場、検査機関における最高値の平均値を示したものであり、上記の最大残留量の定義と異なっている。

農産物名	基準値 案 ppm	基準値 現行 ppm	登録 有無	参考基準値		作物残留試験成績 ppm
				国際 基準 ppm	外国 基準値 ppm	
米(玄米をいう)		0.02				
小麦		0.02				
大麦		0.02				
ライ麦		0.02				
とうもろこし		0.02				
そば		0.02				
その他の穀類		0.02				
大豆	0.05	0.02	申			0.064(#), 0.047(#), <0.01, <0.01
小豆類(いんげん、ささげを含む)		0.2				
えんどう		0.2				
そらまめ	0.2	0.2	○			0.03, <0.01
らっかせい		0.2				
その他の豆類		0.2				
ばれいしょ		0.02				
さといも類(やつがしらを含む)		0.02				
かんしょ		0.02				
やまいも(長いもをいう)		0.02				
こんにやくいも		0.02				
その他のいも類		0.02				
てんさい	0.5	0.5	○			0.069, 0.030
さとうきび		0.02				
だいこん類(ラディッシュを含む)の根	0.1	0.1	○			0.02, 0.02(だいこん), 0.02, 0.02(はつかだい こん)
だいこん類(ラディッシュを含む)の葉	10	10	○			2.46, 0.44(だいこん), 3.1(\$), 2.3(はつかだい こん)
かぶ類の根		0.1				
かぶ類の葉		10				
西洋わさび	0.05	0.1	○			0.01, <0.01
クレソン		10				
はくさい	0.5	0.5	○			0.145(\$), 0.019, 0.052, 0.020, 0.026, 0.004, 0.075, 0.018
キャベツ	0.5	0.5	○			0.038, 0.022
芽キャベツ	0.5	0.5				
ケール		10				
こまつな	10	10	○			3.08(\$), 0.81
きょうな	10	10	○			3.26(\$), 2.68(みずな)
チンゲンサイ	5	10	○			0.46, 2.48(#\$)
カリフラワー		10				
ブロッコリー	5	10	○			1.59(\$), 0.20
その他のあぶらな科野菜	5	10	○			2.19, 1.20(しろな)
ごぼう		0.1				
サルシフィー		0.1				
アーティチョーク		10				
チコリ		10				
エンダイブ		10				
しゅんぎく	10	10	○			5.60, 3.27 0.16, 0.48(レタス), 2.34(#), 1.22(リーフレ タス), 3.6(\$), 1.8(サラ ダ菜)
レタス(サラダ菜及びちしゃを含む)	10	10	○			0.22, 0.26(くきち しゃ), 0.9, 1.0(きく)
その他のきく科野菜	2	10	○			
たまねぎ		0.02				
ねぎ(リーキを含む)	10	10	○			1.52, 0.12(葉ねぎ), 0.159(#), 1.04(#)(深ね ぎ)

農産物名	基準値案 ppm	基準値 現行 ppm	登録 有無	参考基準値		作物残留試験成績 ppm
				国際 基準 ppm	外国 基準値 ppm	
にんにく にら アスパラガス わけぎ その他のゆり科野菜	0.5 10	0.02 10 10 10	○			0.14, 0.15
にんじん パースニップ パセリ セロリ みつば その他のせり科野菜	10 10 10	0.1 0.1 10 10 10	○ ○ ○			4.80, 3.25 0.85(#), 3.19(#) 5.88, 3.80
トマト ピーマン なす その他のなす科野菜	0.5 1 2 3	0.5 2 2 2	○ ○ ○ 申			0.11, 0.14(トマト)、 0.19, 0.10(ミニトマト) 0.34, 0.50 0.18(#), 0.68(#) 1.14(#\$), 0.49(#)(ししと う)、0.4, <0.2(甘長とう がらし)
きゅうり(ガーキンを含む) かぼちゃ(スカッシュを含む) しろうり すいか メロン類果実 まくわうり その他のうり科野菜	2 0.2 0.3 0.2 0.02 0.5	2 2 2 0.2 0.02 2	○ ○ ○ ○ ○ ○			0.14, 0.13 0.04, 0.02(#) <0.05, <0.05 0.03(\$), <0.01 0.002, 0.002 0.09, 0.12(とうがん)
ほうれんそう たけのこ オクラ しょうが 未成熟えんどう 未成熟いんげん えだまめ	10 1 1 5	10 0.1 2 0.1 1 1 1	○ ○ ○ ○ ○ 申			3.90, 4.53 0.36, 0.30 0.48, 0.39 1.09, 1.54(\$)
マッシュルーム しいたけ その他のきのこ類	0.1	0.02 0.02 0.1			0.1	スペイン
その他の野菜	10	10	○			<0.01, 0.02(未成熟そ らまめ)、0.1, 0.3(未成 熟ささげ)、0.3, 0.3(未 成熟ふじまめ)、2.74, 3.08(食用さくら)、 2.45, 1.70(食用トレニ ア)、4.08, 3.50(ゆきの した)、1.64, 2.66(つる むらさき)
みかん なつみかんの果実全体 レモン オレンジ(ネーブルオレンジを含む) グレープフルーツ ライム その他のかんきつ類果実	0.3 2 2 2 2 2 2	0.3 2 2 2 2 2 2	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○		0.3	アメリカ
りんご 日本なし 西洋なし マルメロ びわ	1 0.5 0.5	1 0.5 0.5 1 0.2	○ ○ ○		0.5 0.5 0.5	アメリカ アメリカ アメリカ
もも ネクタリン あんず(アプリコットを含む)	0.1 0.7	0.1 1 2	○ ○			0.006, <0.005 0.18, 0.22

農産物名	基準値 案 ppm	基準値 現行 ppm	登録 有無	参考基準値		作物残留試験成績 ppm
				国際 基準 ppm	外国 基準値 ppm	
すもも(プルーンを含む)		2				
うめ		2				
おうとう(チェリーを含む)	2	2	○			0.11, 0.66(\$)
いちご	0.5	0.5	○			0.06, 0.14
ラズベリー		2				
ブラックベリー		2				
ブルーベリー		2				
クランベリー		2				
ハuckleベリー		2				
その他のベリー類果実		2				
ぶどう	2	2			0.7	アメリカ
かき		1				
バナナ		1				
キウイ		0.2				
パパイヤ		1				
アボカド		1				
パイナップル		1				
グアバ		1				
マンゴー		1				
パッションフルーツ		1				
なつめやし		2				
その他の果実		2				
ひまわりの種子		0.02				
ごまの種子		0.02				
べにばなの種子		0.02				
綿実	0.03	0.03			0.03	イタリア
なたね		0.02				
その他のオイルシード		0.02				
ぎんなん		0.02				
くり		0.02				
ペカン		0.02				
アーモンド		0.02				
くるみ		0.02				
その他のナッツ類		0.02				
茶	15	15	○			7.94, 7.66
コーヒー豆		0.02				
カカオ豆		0.02				
ホップ		0.02				
その他のスパイス	10	10				4.17(\$), 1.80(みかんの果皮) <0.04, <0.04(みょうが), 5.54, 4.73(しそ), 2.50, 3.10(バジル), 2.60, 3.21(はつか), 4.37, 5.50(チャービル)
その他のハーブ	10	10	○			
陸棲哺乳類の肉類					4.5	アメリカ
陸棲哺乳類の乳類					0.2	アメリカ

平成17年11月29日厚生労働省告示第499号において新しく設定した基準値については、網をつけて示した。
注1)(\$)を付記した作物残留試験成績は、作物残留試験成績のばらつきを考慮し、最大残留値を暴露評価に用いた。
注2)だいこん類の葉、その他の野菜及びその他のハーブについては、品種の相違による偏差を考慮し、作物残留量の高いはつかだいこん、ゆきのした及びチャービルの作物残留試験成績を基準値策定に用いた。

フルフェノクスロン推定摂取量 (単位: $\mu\text{g}/\text{人}/\text{day}$)

食品群	基準値案 (ppm)	国民平均 TMDI	高齢者 (65歳以上) TMDI	妊婦 TMDI	幼小児 (1~6歳) TMDI
大豆	0.05	2.8	2.9	2.3	1.7
そら豆	0.2	0.0	0.1	0.0	0.0
てんさい	0.5	2.3	2.0	1.7	1.9
だいこん類 (ラディッシュを含む) の根	0.1	4.5	5.9	2.9	1.9
だいこん類 (ラディッシュを含む) の葉	10	22.0	34.0	9.0	5.0
西洋わさび	0.05	0.0	0.0	0.0	0.0
はくさい	0.5	14.7	15.9	11.0	5.2
キャベツ	0.5	11.4	10.0	11.5	4.9
芽キャベツ	0.5	0.1	0.1	0.1	0.1
こまつな	10	43.0	59.0	16.0	20.0
きょうな	10	3.0	3.0	1.0	1.0
チンゲンサイ	5	7.0	9.5	5.0	1.5
ブロッコリー	5	22.5	20.5	23.5	14.0
その他のあぶらな科野菜	5	10.5	15.5	1.0	1.5
しゅんぎく	10	25.0	37.0	19.0	6.0
レタス (サラダ菜及びちしゃを含む)	10	61.0	42.0	64.0	25.0
その他のきく科野菜	2	0.8	1.4	1.0	0.2
ねぎ (リーキを含む)	10	113.0	135.0	82.0	45.0
アスパラガス	0.5	0.5	0.4	0.2	0.2
わけぎ	10	2.0	3.0	1.0	1.0
パセリ	10	1.0	1.0	1.0	1.0
セロリ	10	4.0	4.0	3.0	1.0
みつば	10	2.0	2.0	1.0	1.0
トマト	0.5	12.2	9.5	12.3	8.5
ピーマン	1	4.4	3.7	1.9	2.0
なす	2	8.0	11.4	6.6	1.8
その他のなす科野菜	3	0.6	0.9	0.3	0.3
きゅうり (ガーキンを含む)	2	32.6	33.2	20.2	16.4
かぼちや (スカッシュを含む)	0.2	1.9	2.3	1.4	1.2
しろうり	0.3	0.1	0.2	0.0	0.0
すいか	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0
メロン類果実	0.02	0.0	0.0	0.0	0.0
その他のうり科野菜	0.5	0.3	0.4	1.2	0.1
ほうれんそう	10	187.0	217.0	174.0	101.0
未成熟えんどう	1	0.6	0.6	0.7	0.2
未成熟いんげん	1	1.9	1.8	1.8	1.2
えだまめ	5	0.5	0.5	0.5	0.5
その他のきのこ類	0.1	1.0	1.0	0.8	0.4
その他の野菜	10	126.0	122.0	96.0	97.0
みかん	0.3	12.5	12.8	13.7	10.6
なつみかんの果実全体	2	0.2	0.2	0.2	0.2
レモン	2	0.6	0.6	0.6	0.4
オレンジ (ネーブルオレンジを含む)	2	0.8	0.4	1.6	1.2
グレープフルーツ	2	2.4	1.6	4.2	0.8
ライム	2	0.2	0.2	0.2	0.2
その他のかんきつ類果実	2	0.8	1.2	0.2	0.2
りんご	1	35.3	35.6	30.0	36.2
日本なし	0.5	2.6	2.6	2.7	2.2
西洋なし	0.5	0.1	0.1	0.1	0.1
もも	0.1	0.1	0.0	0.4	0.1
ネクタリン	0.7	0.1	0.1	0.1	0.1
おうとう (チェリーを含む)	2	0.2	0.2	0.2	0.2
いちご	0.5	0.2	0.1	0.1	0.2
ぶどう	2	11.6	7.6	3.2	8.8
綿実	0.03	0.0	0.0	0.0	0.0
茶	15	45.0	64.5	52.5	21.0

食品群	基準値案 (ppm)	国民平均 TMDI	高齢者 (65歳以上) TMDI	妊婦 TMDI	幼小児 (1～6歳) TMDI
その他のスパイス	10	1.0	1.0	1.0	1.0
その他のハーブ	10	1.0	1.0	1.0	1.0
計		844.4	938.0	686.5	453.8
ADI比 (%)		42.8	46.8	33.4	77.6

TMDI : 理論最大1日摂取量 (Theoretical Maximum Daily Intake)

(参考)

これまでの経緯

- 平成 5年11月 8日 初回農薬登録
- 平成16年 7月20日 農薬登録申請（大豆、えだまめ等に係る適用拡大申請）
- 平成16年 8月 3日 厚生労働大臣から食品安全委員長あてに残留基準設定に係る食品健康影響評価について要請
- 平成16年 8月 5日 食品安全委員会（要請事項説明）
- 平成16年 9月 1日 第16回食品安全委員会農薬専門調査会
- 平成17年11月29日 残留農薬基準告示
- 平成18年 3月17日 農薬登録申請（ミニトマト、かぼちゃ等に係る適用拡大申請）
- 平成18年 7月18日 厚生労働大臣から食品安全委員長あてに残留基準設定に係る食品健康影響評価について追加要請
- 平成18年 7月20日 食品安全委員会（要請事項説明）
- 平成18年11月20日 第6回農薬専門調査会総合評価第二部会
- 平成18年12月 6日 第8回農薬専門調査会幹事会
- 平成19年 1月15日 第7回農薬専門調査会総合評価第二部会
- 平成19年 2月 7日 第10回農薬専門調査会幹事会
- 平成19年 2月22日 食品安全委員会における食品健康影響評価（案）の公表
- 平成19年 4月11日 薬事・食品衛生審議会食品衛生分科会へ諮問
- 平成19年 4月19日 食品安全委員会（報告）
- 平成19年 4月19日 食品安全委員会委員長から厚生労働大臣あてに食品健康影響評価について通知
- 平成19年 4月24日 薬事・食品衛生審議会食品衛生分科会農薬・動物用医薬品部会

●薬事・食品衛生審議会食品衛生分科会農薬・動物用医薬品部会

[委員]

青木 宙	東京海洋大学大学院海洋科学技術研究科教授
井上 松久	北里大学副学長
○大野 泰雄	国立医薬品食品衛生研究所副所長
尾崎 博	東京大学大学院農学生命科学研究科教授
加藤 保博	財団法人残留農薬研究所理事
斉藤 貢一	星薬科大学薬品分析化学教室准准教授
佐々木 久美子	国立医薬品食品衛生研究所客員研究員
志賀 正和	元独立行政法人農業技術研究機構中央農業研究センター虫害防除部長
豊田 正武	実践女子大学生生活科学部生活基礎化学研究室教授
米谷 民雄	国立医薬品食品衛生研究所食品部長
山内 明子	日本生活協同組合連合会組織推進本部 本部長
山添 康	東北大学大学院薬学研究科医療薬学講座薬物動態学分野教授
吉池 信男	独立行政法人国立健康・栄養研究所研究企画評価主幹
鰐淵 英機	大阪市立大学大学院医学研究科都市環境病理学教授

(○：部会長)

答申（案）

フルフェノクスロン

食品名	残留基準値
	ppm
大豆	0.05
そらまめ	0.2
西洋わさび	0.05
こまつな	10
きょうな	10
チンゲンサイ	5
ブロッコリー	5
その他のあぶらな科野菜(注1)	5
しゅんぎく	10
レタス	10
その他のきく科野菜(注2)	2
アスパラガス	0.5
パセリ	10
みつば	10
ピーマン	1
その他のなす科野菜(注3)	3
かぼちや	0.2
しろり	0.3
すいか	0.2
その他のうり科野菜(注4)	0.5
ほうれんそう	10
未成熟えんどう	1
未成熟いんげん	1
えだまめ	5
その他の野菜(注5)	10
ネクタリン	0.7
その他のスパイス(注6)	10
その他のハーブ(注7)	10

(注1)「その他のあぶらな科野菜」とは、あぶらな科野菜のうち、だいこん類の根、だいこん類の葉、かぶ類の根、かぶ類の葉、西洋わさび、クレソン、はくさい、キャベツ、芽キャベツ、ケール、こまつな、きょうな、チンゲンサイ、カリフラワー、ブロッコリー及びハーブ以外のものをいう。

(注2)「その他のきく科野菜」とは、きく科野菜のうち、ごぼう、サルシフィー、アーティチョーク、チコリ、エンダイブ、しゅんぎく、レタス及びハーブ以外のものをいう。

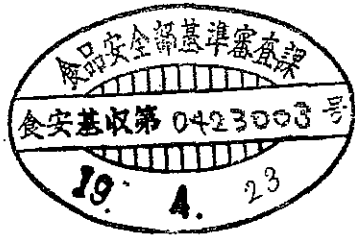
(注3)「その他のなす科野菜」とは、なす科野菜のうち、トマト、ピーマン及びなす以外のものをいう。

(注4)「その他のうり科野菜」とは、うり科野菜のうち、きゅうり、かぼちや、しろり、すいか、メロン類果実及びまくわうり以外のものをいう。

(注5)「その他の野菜」とは、野菜のうち、いも類、てんさい、さとうきび、あぶらな科野菜、きく科野菜、ゆり科野菜、せり科野菜、なす科野菜、うり科野菜、ほうれんそう、たけのこ、オクラ、しょうが、未成熟えんどう、未成熟いんげん、えだまめ、きのこと類、スパイス及びハーブ以外のものをいう。

(注6)「その他のスパイス」とは、スパイスのうち、西洋わさび、わさびの根茎、にんにく、とうがらし、パプリカ、しょうが、レモンの果皮、オレンジの果皮、ゆずの果皮及びごまの種子以外のものをいう。

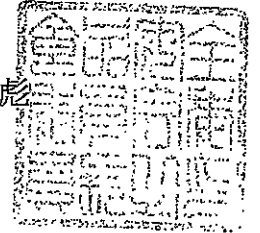
(注7)「その他のハーブ」とは、ハーブのうち、クレソン、にら、パセリの茎、パセリの葉、セロリの茎及びセロリの葉以外のものをいう。



府 食 第 3 9 1 号
平成 19 年 4 月 19 日

厚生労働大臣
柳澤 伯夫 殿

食品安全委員会
委員長 見上 彪



食品健康影響評価の結果の通知について

平成 16 年 8 月 3 日付け厚生労働省発食安第 0803002 号及び平成 18 年 7 月 18 日付け厚生労働省発食安第 0718003 号をもって貴省から当委員会に対して求められたフルフェノクスロンに係る食品健康影響評価の結果は下記のとおりですので、食品安全基本法（平成 15 年法律第 48 号）第 23 条第 2 項の規定に基づき通知します。

なお、食品健康影響評価の詳細は別添のとおりです。

記

フルフェノクスロンの一日摂取許容量を 0.037 mg/kg 体重/日と設定する。

農薬評価書

フルフェノクスロン

2007年4月

食品安全委員会